

覆土式一時保管施設の準備工事の状況 について

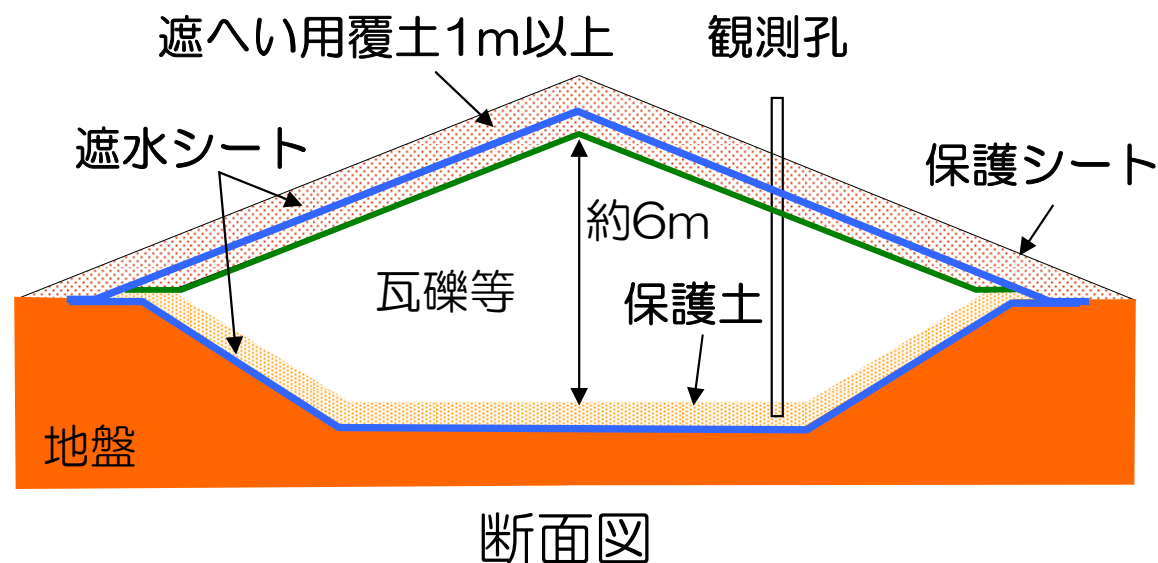
2012年5月28日
環境線量低減対策



東京電力

1. 覆土式一時保管施設の概要

■敷地境界線量低減のため、土等による遮へい対策を施した覆土式一時保管施設により瓦礫等を保管する。



2. 準備工事の状況

- 覆土式一時保管施設(2槽)の準備工事を実施中 (H24.2.13~)
 - 1槽目 (写真右) : 遮水シート敷設・保護土工を完了し、雨養生用の仮設テントを組み立て中
 - 2槽目 (写真左) : 遮水シート敷設を完了し、保護土工を実施中



2槽目 [H24.5.24撮影]
保護土工を実施中



1槽目 [H24.5.24撮影]
雨養生用の仮設テントを組み立て中

3. 今後の予定と覆土後の管理について

- 準備工事の終了後、6月には瓦礫等の受入を開始したい。
- 瓦礫を搬入し覆土した後、覆土式一時保管施設の状況を定期的に確認する。

表 覆土式一時保管施設の確認項目等

確認項目	内容
外観確認	外観確認によって、覆土の状態など施設に異常がないことを確認する。
空間線量率, 空气中放射性物質濃度	施設周辺の空間線量率, 空气中放射性物質濃度の測定を行う。
地下水の放射能濃度	施設近傍の地下水の放射性物質濃度の測定を行う。
保管量	施設の保管量を確認する。
施設内溜まり水の有無	観測孔を用いて槽内の水位計測を行い, 溜まり水の有無を確認する。確認された場合には回収する。
区画、掲示物	ロープや柵等により区画されていること、立入制限の標識及び空間線量率の測定結果が掲示されていることを確認する。